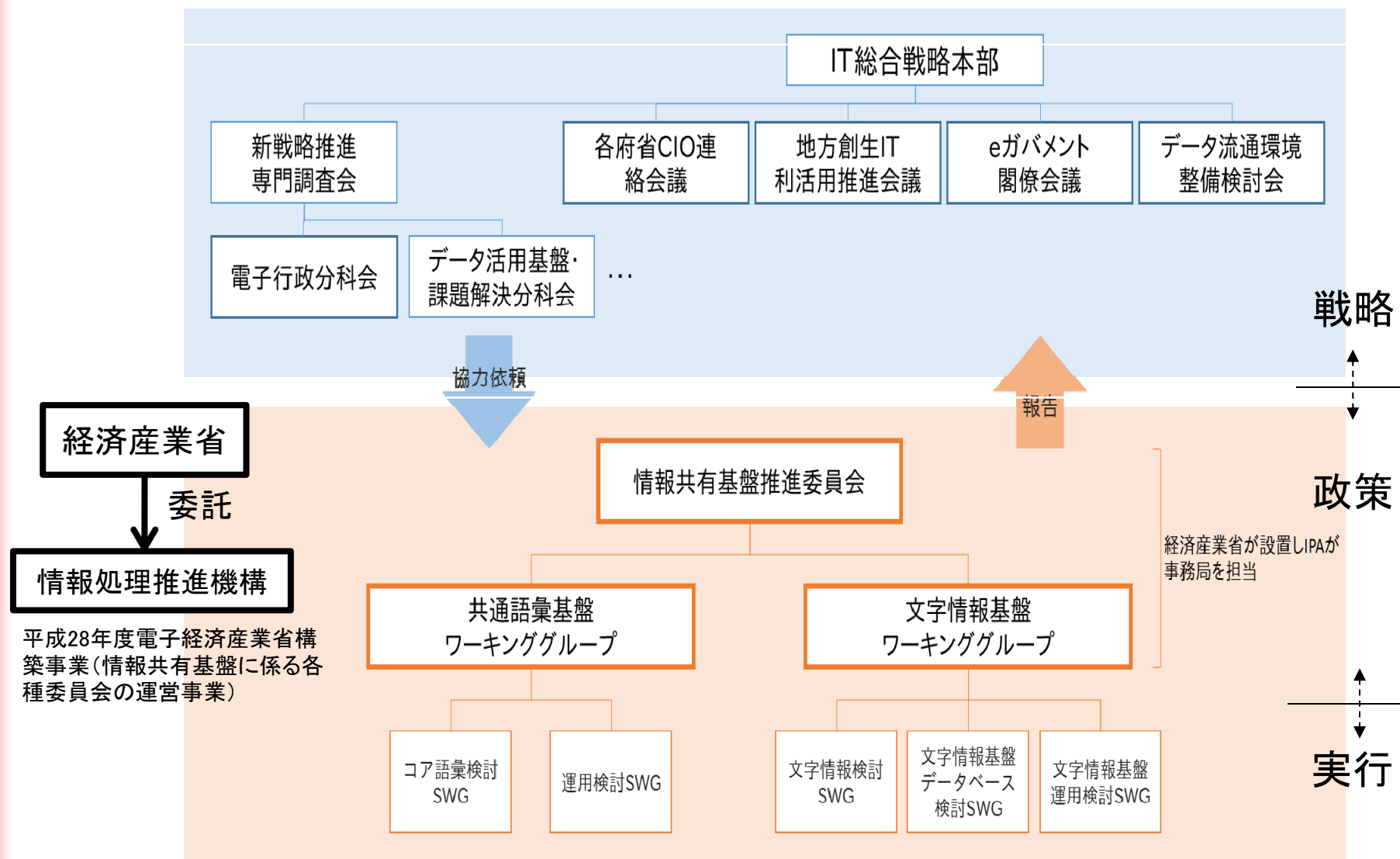


## 共通語彙基盤 2016年度実施状況

技術本部国際標準推進センター

# 共通語彙基盤、文字情報基盤の事業実施体制



# 2016年度共通語彙基盤実施の概要



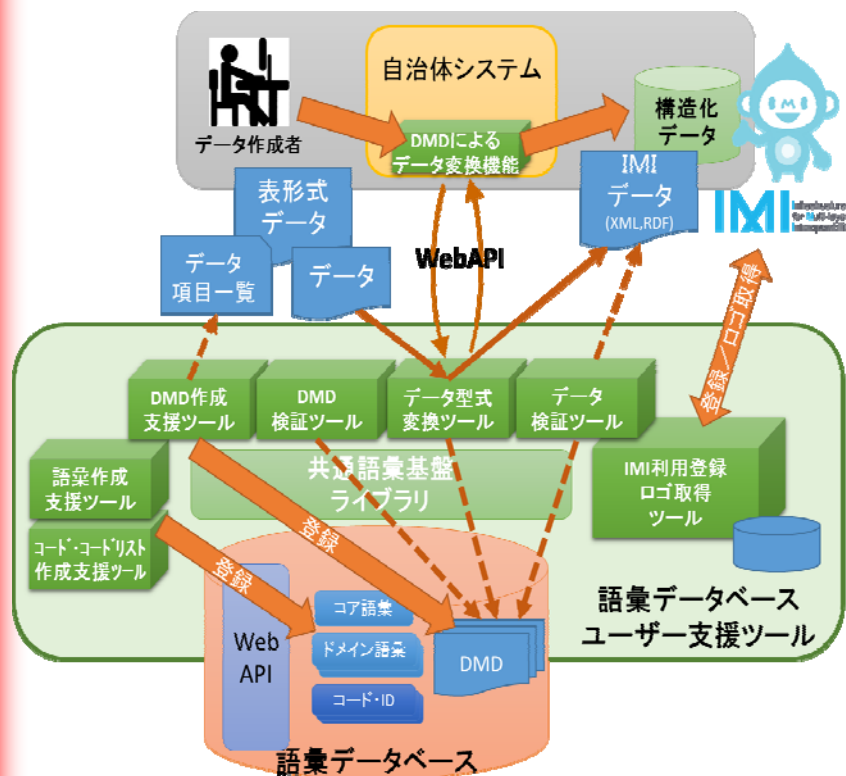
- データベースとツール
  - 開発に着手(2016年度)→2017年度運用開始
- 仕様の策定
  - コア語彙の検討と公開
  - DMD仕様の策定と公開
  - 構造化項目名記法の策定と公開
  - IMI語彙の定義記法を策定
- 情報公開
  - 手引き書類の整備と公開
  - 「公開ドラフト」の公開
  - DMDの公開
- 体制の構築
  - imi.go.jpサイトの運用を開始
  - IMIパートナー制度の運用を開始
- 普及啓発活動
  - セミナー（6月、2017年2月）、ハッカソン（11月）

# データベースとツール



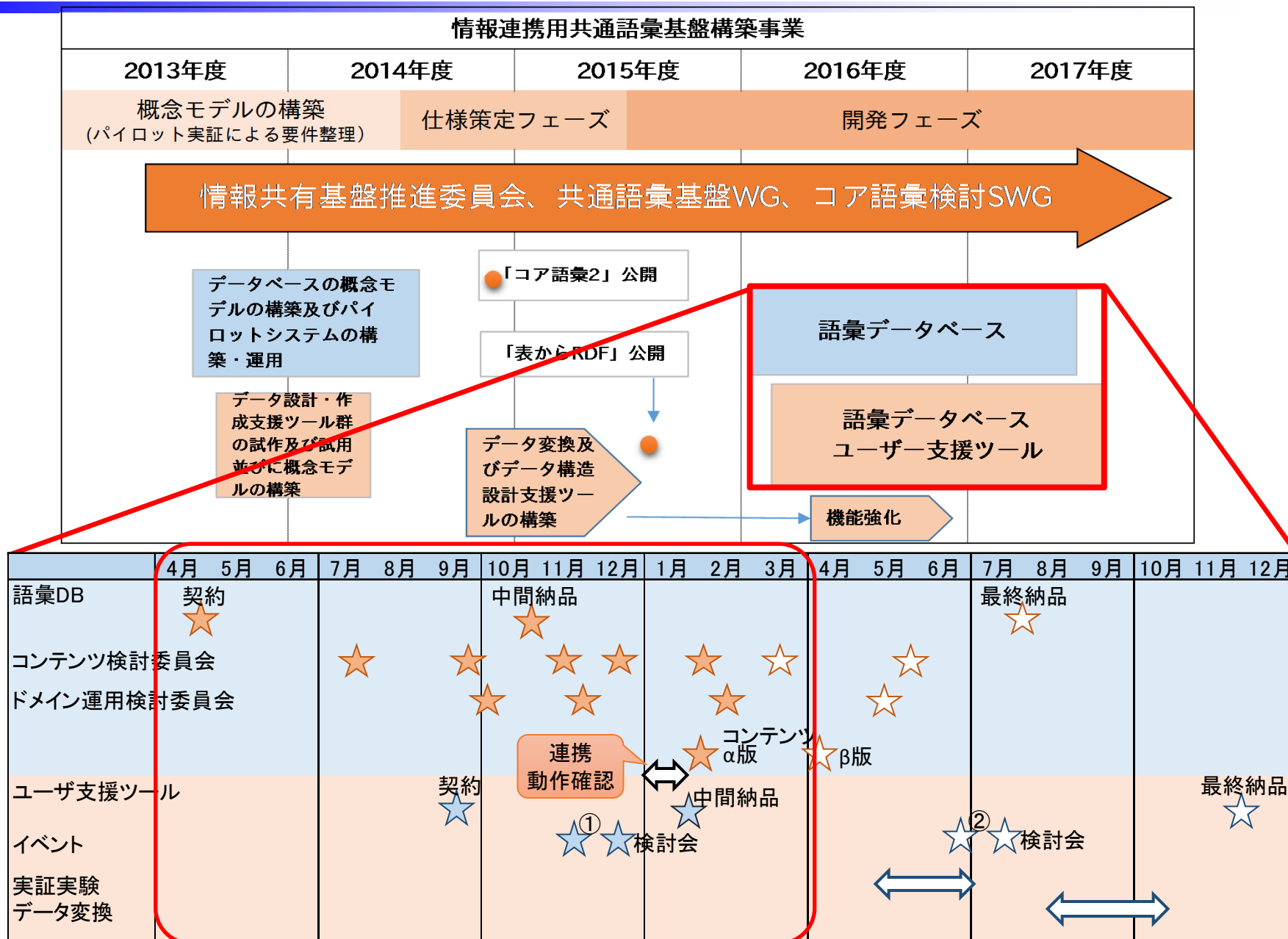
# 語彙データベースとユーザー支援ツール IPA

「語彙データベース」と連携して動作し、語彙やDMDの作成を支援したり、自治体システムから呼び出されて構造化データの作成を支援するなど、共通語彙基盤を活用するためのツール



語彙作成支援ツール	組織、ドメイン等で使用している言葉を整理し、階層をもつ語彙を作成する作業を支援するツール
コード・コードリスト作成支援ツール	業務において使用しているコードからIMI形式のコード及びコードリストの作成を支援するツール
DMD作成支援ツール	データの項目一覧を元に、DMDの新規作成や既存DMDの編集を支援するツール
データ形式変換ツール	表形式のデータを、対応するDMDを使って共通語彙基盤によって表現される構造化されたデータへ変換するツール
DMD検証ツール	DMD内の各種ファイルがDMD仕様の要件を満たしているかどうか及びIMI用語がIMIのルールに従って利用されているかどうかを検証するツール
データ検証ツール	DMDに記述されたデータ構造や値制限に適合しているかどうかを検証するツール
共通語彙基盤ライブラリ	上記のツールが共通で用いる機能やデータを利用するアプリケーションの開発を容易にする機能を提供するライブラリ
共通語彙基盤利用登録及びロゴ取得ツール	共通語彙基盤の利用を登録し、共通語彙基盤ロゴを取得するためのツール

# データベース、ツールの開発状況



# 仕様の策定

- コア語彙の検討と公開
- DMD仕様の策定と公開
- 構造化項目名記法の策定と公開
- IMI語彙の定義記法を策定



# コア語彙SWG実施状況

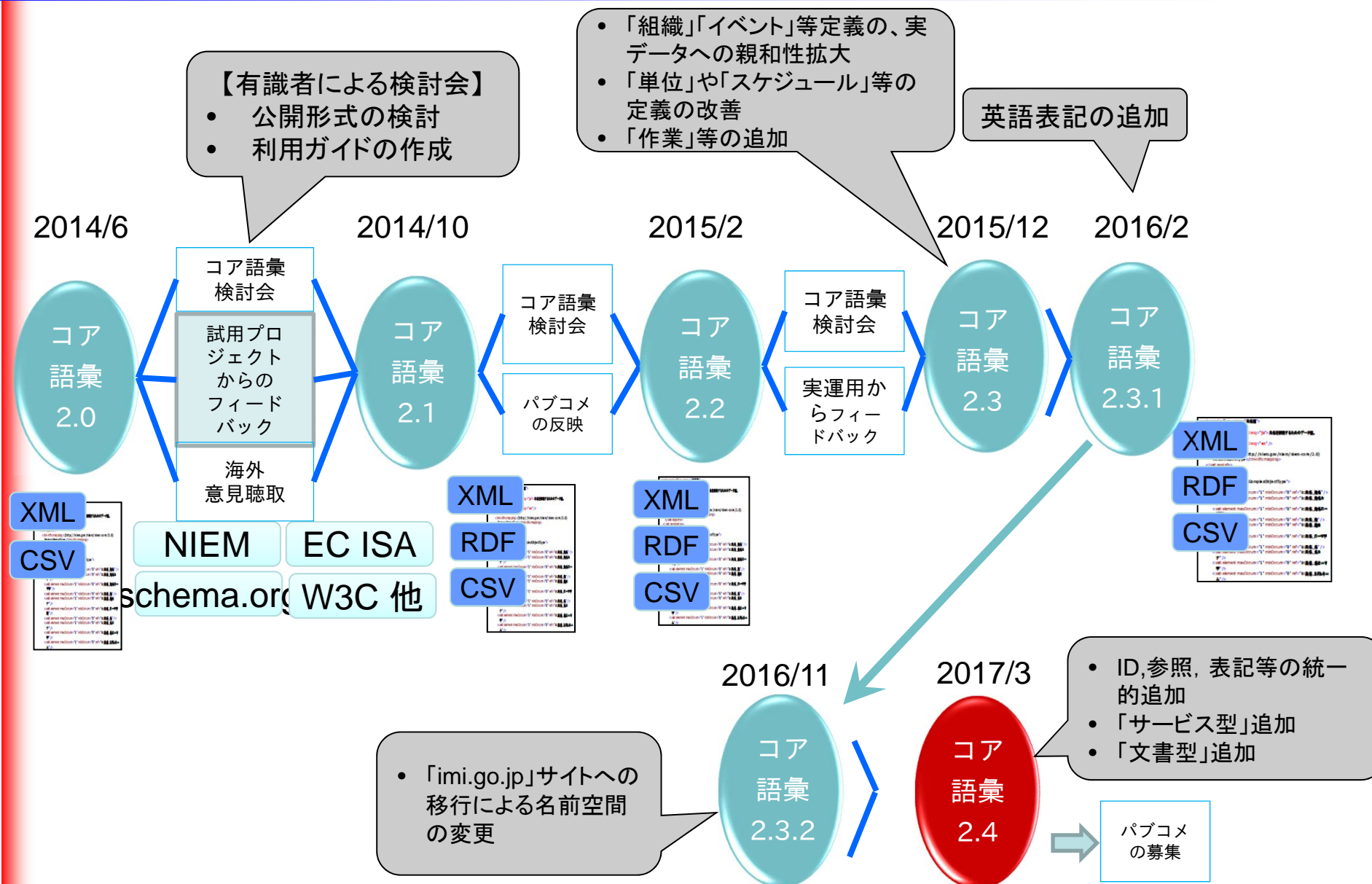


2016/4/1～2017/2/17  
実施回数:38回

1	2016/04/15	運用	ロゴプログラム、<imi.go.jp>、6月実施イベントなどについて
2	2016/05/18	運用	海外連携(SEMIC参加)、ロゴプログラム、6月実施イベントなどについて
3	2016/06/17	運用	語彙DBと語彙ツールの事業進捗状況について
4	2016/07/15	運用	「imi.go.jp」について、語彙DBと語彙ツールの事業進捗状況について
5	2016/08/18	運用	初期段階でのドメイン語彙運用、「imi.go.jp」取得状況について
6	2016/09/14	運用	初期段階でのドメイン語彙運用、「imi.go.jp」取得状況について
7	2016/12/05	運用	パートナープログラムの検討状況、運用ルールについて
8	2017/01/10	運用	パートナープログラムの検討状況、運用ルールについて
9	2017/02/17	運用	パートナープログラムの検討状況、ドメイン語彙プロセスの検討について
1	2016/04/22	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、文字セットの制限について
2	2016/05/27	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、文字セットの制限について
3	2016/06/10	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、コア語彙 2.4に向けて、日本語シリアライズについて
4	2016/06/24	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、コア語彙 2.4に向けて、日本語シリアライズについて
5	2016/07/08	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、コア語彙 2.4に向けて、日本語シリアライズについて
6	2016/07/22	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、コア語彙 2.4に向けて、日本語シリアライズについて
7	2016/08/12	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、コア語彙 2.4に向けて、日本語シリアライズについて
8	2016/08/26	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、コア語彙 2.4に向けての検討
9	2016/09/09	技術	共通語彙基盤ドキュメント整備、日本語シリアライズについて
10	2016/09/21	技術	コア語彙 2.4に向けて、IMI構造化項目名(日本語シリアライズ)について
11	2016/10/07	技術	コア語彙 2.4に向けて、IMI構造化項目名について
12	2016/10/28	技術	コア語彙 2.4に向けて、IMI構造化項目名について
13	2016/11/14	技術	imi.go.jp 公開に向けての検討
14	2016/11/25	技術	コア語彙 2.4に向けての技術検討
15	2016/12/02	技術	DMD3.0仕様の調整、コア語彙 2.4に向けての技術検討について
16	2016/12/16	技術	DMD3.0仕様のパブリックコメント回答について
17	2017/01/13	技術	コア語彙2.4の技術検討、IMI 構造化項目名記法 パブリックコメント回答について
18	2017/01/27	技術	DMD3.0仕様のパブリックコメント回答、XBRLとコア語彙の対応表 確認について
19	2017/02/10	技術	コア語彙 2.4に向けて、DMD3.0仕様、コア語彙のマスター表現について
1	2016/09/20	XBRL	DMDの説明
2	2016/10/24	XBRL	DMDをXBRLで作成したものを確認し議論
3	2016/12/06	XBRL	EDINETで語彙の管理がどのようにされているか
4	2017/02/06	XBRL	財務報告書の表紙レベルとハイライト情報をIMI XMLで作成試行
1	2017/02/10	統計センター	統計LODとIMIとの共通化、整合性構築、相互リンクについて
1	2016/09/26	ドキュメント	コア語彙ドキュメント制作キックオフ
2	2016/10/24	ドキュメント	コア語彙ドキュメント
3	2016/12/07	ドキュメント	年末、年度末に向けたドキュメント整備について
4	2017/01/12	ドキュメント	詳細版ドキュメントについて検討
5	2017/01/30	ドキュメント	詳細版ドキュメントについて検討



# 「コア語彙」のバージョンアップ



## ■ さらなる利便性の向上と、適用範囲の拡大

行政現場からの意見に基づき、利便性の向上と適用範囲の拡大を図った。

- 全ての具体的な物や事象を表すクラス用語に、ID、参照、表記、画像に追加を追加して、これらのプロパティがどのクラス用語でも統一的に利用できるようにした。
- Webサイト、URLなどに分かれていた参照に関するプロパティを「参照」に統合。
- サービス型を追加
- 文書型を追加

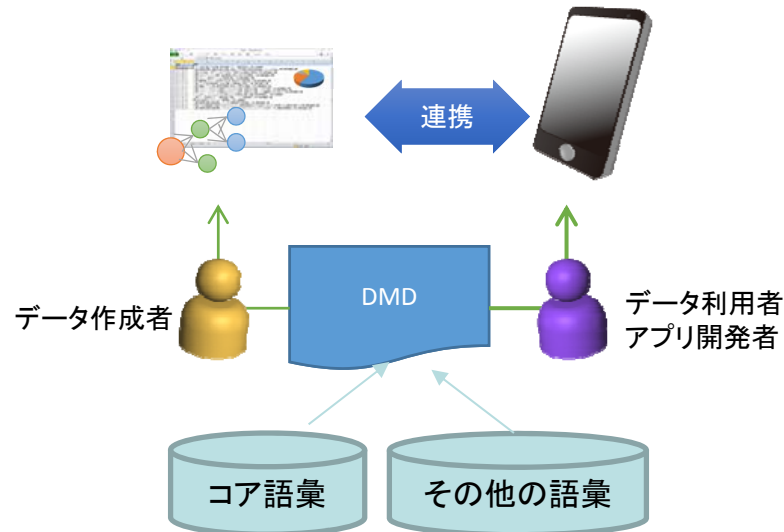
## ■ コア語彙2.3に対して上位互換を維持

- 厳密には互換でない例外 1 つを除く

# DMD仕様の策定と公開

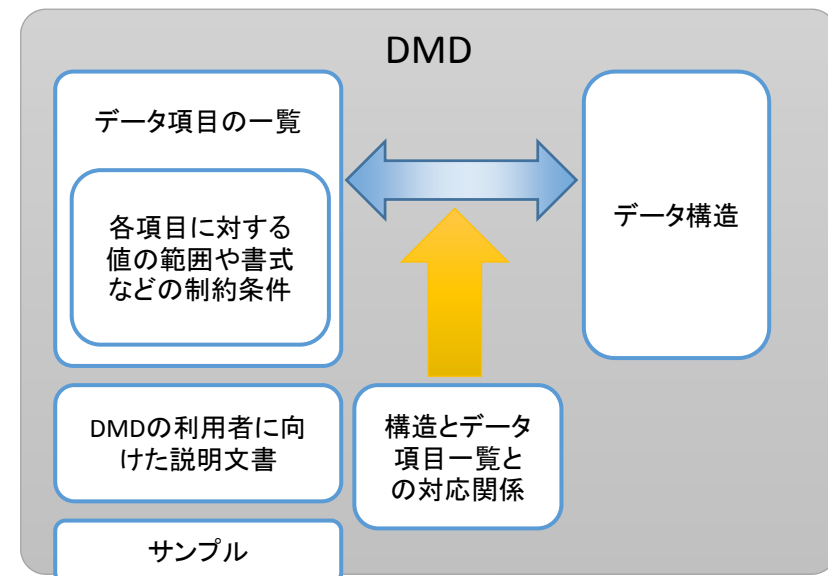
DMD (Data Model Description / Descriptor)

- データ交換を行う当事者間で共有するデータモデルの記述方式を決め、公開
  - 参照するスキーマや項目の値の制限、項目の内容を説明したドキュメントなど、データ項目を共有するために必要な情報をひとまとめたパッケージ。
  - 機械向けの情報と人間向けの情報の双方を持つ
- 2016年10月3日 DMD仕様 Ver 2.0公開
  - 語彙DBおよび、語彙DBユーザー支援ツールに仕様として添付したものを一般公開
- 2016年11月18日「DMD仕様 v3.0」ワーキングドラフトを公開
  - 今後の検討に向け意見募集を実施



DMD(データモデル記述様式)を媒介とすることで、データの作成や連携が容易になる。

## DMDの構造



# 構造化項目名記法の策定と公開

語彙の階層構造をわかりやすく表現するための記法を策定し、公開  
<<http://imi.go.jp/goi/j-serialize.html>>

例1 人>氏名>姓, 人>氏名>名

例2 人>氏名【本名】>姓, 人>氏名【本名】>名, 人>氏名【ペンネーム】>姓名

2016年09月06日  
意見募集を実施。

2016年11月18日  
ご意見を反映・検討し、「構造化項目名記法  
Ver1.0」ワーキングドラフト外部リンクとして公  
開。再度、意見募集を実施。

2017年3月  
ご意見を反映・検討を行い、更新版を公開予  
定。

## 構造化項目名記法

### 1. 概要

構造化項目名記法は、階層構造をもつデータの位置を文字列によって表現するための仕様です。構造化項目名記法を利用することで、階層構造をもつデータを表形式のデータとして表現することができるようになるため、階層構造をもつデータの表計算ソフトウェアによる編集や、表計算ソフトウェアなどで作成されたデータから階層化されたデータへの効率的な変換ができるようになります。

### 2. 構造化項目名記法の基本

日本語シリアライズの基本構造は、クラス用語>プロパティ用語>プロパティ用語>... のように「>」又は「>」で区切って一つのクラス用語と 任意の数のプロパティ用語を並べたものになっています。非常に簡単な例を次に示します。

例1

人>氏名>姓, 人>氏名>名



図1: 人の氏名の階層構造

# IMI語彙の定義記法を策定

表による定義からxmlなどを生成

人

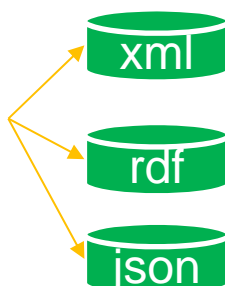
識別子:  
ic:人型

継承:  
ic:実体型

説明:  
人の情報を表現するためのクラス用語

プロパティ:

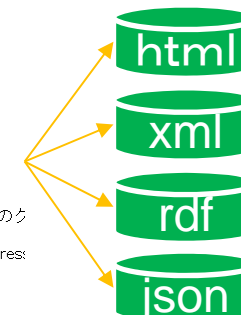
識別子	項目名	値型	回数	説明
ic:id	ID	ic:id型	0..n	人に割り振られたIDを記述するためのプロパティ用語
ic:氏名	氏名	ic:氏名型	0..n	氏名を記述するためのプロパティ用語
ic:性別	性別	xsd:string	0..1	性別の表記を記述するためのプロパティ用語
ic:性別コード	性別コード	ic:コード型	0..1	性別コードを記述するためのプロパティ用語
ic:生年月日	生年月日	ic:日付型	0..1	生年月日を記述するためのプロパティ用語
ic:死亡年月日	死亡年月日	ic:日付型	0..1	死亡年月日を記述するためのプロパティ用語



新しい記法を原本とし、xml等を生成

```
* @description.en IMI Core Vocabulary
* @creator METI
* @creator IPA
* @publisher IPA
* @version 2.4.0
* @license
*/
vocabulary ic:

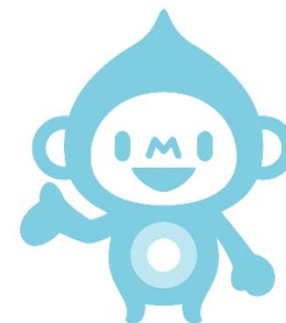
/*****
* @description 人の情報を表現するためのク
* @name.en Person
* @description.en A class term to expres
*/
class ic:人型 [ic:実体型];
```



- 語彙そのものをフォーマルに表現する記述方法の確立
  - IMI語彙の表形式による定義を廃止(従来、表形式定義からXML, RDF等の表現をここから生成していた)
  - 代わりに、同等の情報をフォーマルなシンタックスに基づく記法で記述
- 構造化項目名を元にした表記を採用。
  - 用語の定義をテキストで記述する記法
  - 構造化項目名の記法（構造の記述方法）に制約と定義の記述方法を追加
- メリット
  - 語彙定義の検証など、コンピューターによる処理が容易になる
  - 語彙とDMDの連続性が向上

# 情報公開

- 手引き書類の整備と公開
- 「公開ドラフト」の公開
- DMDの公開



# 説明書類の整備と公開



## IMI共通語彙基盤 導入の手引き

第1版

2017年1月

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)  
技術本部 国際標準推進センター

- ◆ IMI共通語彙基盤の背景
- ◆ 共通語彙基盤を使う
- ◆ 語彙について
- ◆ ID体系とコードリスト
- ◆ DMD(Data Model Description)について

# 公開ドラフトの公開（2017年2月時点）





Infrastructure  
for Multi-layer  
Interoperability

情報連携に不可欠な基本情報やツールを提供するサイトです

[トップ](#) [IMIとは](#) [共通語彙基盤](#) [文字情報基盤](#) [お知らせ](#) [イベント](#)

[ホーム](#) > [共通語彙基盤](#) > [共通語彙](#) > [公開ドラフト一覧](#)

## 公開ドラフト一覧

公開ドラフト(Public Draft)は、IMIサイトより公開し、皆様に活用いただきつつ、改良を続けてゆくことを想定した語彙、あるいは将来の語彙の基となる検討文書です。  
ランダムに付与された番号によってPDxxxx のような名前をつけ、識別します。

公開ドラフトについては、随時バージョンアップが行われる可能性があります、旧バージョンへのアクセスも継続的に可能としていきます。

▼ 共通語彙基盤 ▼

[共通語彙基盤について](#)

[共通語彙](#)

[DMD](#)

[DMD Editor](#)

[共通語彙基盤コミュニティ](#)

[コンテンツ一覧](#)

名称	公開日	更新日	最新バージョン番号	説明
<a href="#">PD5474(観光施設に関する語彙の検討)</a>	2017年2月14日	2017年2月14日	-	観光施設向けの用語の検討状況を表形式にまとめたものです。
<a href="#">PD7706(イベントに関する語彙の検討)</a>	2017年2月14日	2017年2月14日	-	イベントに関する用語の検討状況を表形式にまとめたものです。
<a href="#">PD2342(法人情報に関する語彙)</a>	2017年2月13日	2017年2月13日	1.0.0	法人の基本情報や活動情報を交換するための語彙です。
<a href="#">PD1462(子育て関連施設に関する語彙の検討)</a>	2017年2月13日	2017年2月13日	-	子育て施設向けの用語の検討状況を表形式にまとめたものです。

[ホーム](#) | [このサイトについて](#) | [プライバシーポリシー](#) | [お問い合わせ](#)

IMI . GO . JP



# DMDの公開 (2017年2月17日)



## 11種のDMDをサンプルとして公開

- 法人基本情報
- 法人活動情報
- 施設
- 避難施設
- 設備
- 医療機関
- 氏名
- イベント
- 住所
- 組織
- 地物



Infrastructure  
for Multi-layer  
Interoperability

情報連携に不可欠な基本情報やツールを提供するサイトです

[トップ](#)[IMIとは](#)[共通語彙基盤](#)[文字情報基盤](#)[お知らせ](#)[イベント](#)

### DMD(Data Model Description:データモデル記述)一覧

参考:DMD(Data Model Description)について

11件中 1~11件 表示

法人基本情報 DMD@ja

公開状態: 公開

作成者: 共通語彙基盤 コア語彙検討サブワーキンググループ@ja

更新日: 2017/02/13

説明: 本DMDは、「法人インフォメーション (http://hojin-info.go.jp)」が使用している語彙の基になった語彙である、PD2342(法人情報に関する語彙)(http://imi.go.jp/ns/pd/2342/1)を用いて法人基本情報を作成するためのものです。法人インフォメーションで公開されているデータとは異なる名前空間の語彙を用いていることにご注意ください。@ja

法人活動情報 DMD@ja

公開状態: 公開

作成者: 共通語彙基盤 コア語彙検討サブワーキンググループ@ja

更新日: 2017/02/13

説明: 本DMDは、「法人インフォメーション (http://hojin-info.go.jp)」が使用している語彙の基になった語彙である、PD2342(法人情報に関する語彙)(http://imi.go.jp/ns/pd/2342/1)を用いて法人活動情報を作成するためのものです。法人インフォメーションで公開されているデータとは異なる名前空間の語彙を用いていることにご注意ください。@ja

施設 DMD@ja

公開状態: 公開

作成者: 独立行政法人情報処理推進機構@ja

更新日: 2016/09/01

説明: 施設とは、特定目的のための建物等である。部屋等、特定目的を持つ建物内のエリアを示す場合もある。日常的な生活や業務の中で、行政機関、商業施設等、施設の記述が求められることが多い。しかし、目的によって施設の記述方法が様々であるために、複数の地図上のデータを組み合わせて活用しようとする変換が必要な場合が多く、観光、防災情報等の基本的な情報の広域での交換などが十分にできていない。そこで、施設情報を交換する時の共通的な交換方法が必要となる。施設は、特定地点に設置されているものなので、地物情報の情報交換パッケージを拡張して整備している。また、施設は建物情報を持つ場合もあり、その場合には建物情報も拡張できる等、様々な情報交換パッケージの組み合わせで複合的な施設も表現することが可能である@ja

避難施設 DMD@ja

公開状態: 公開

作成者: 独立行政法人情報処理推進機構@ja

更新日: 2016/09/01

説明: 避難施設とは、災害等の緊急時に避難するための施設等である。避難所、避難場所などがある。避難施設は、学校等の一般施設を災害時に活用する場合が多い。そのため、一般の施設情報を拡張して避難所情報を整理することで、住所等の基礎的情報を重複管理することなく情報を管理することが求められる。また、避難は行政区域を越えて広域で行われることも多い。更に避難所の状況を共有するための報告情報等のデータ構造の整理も求められている。そこで、避難施設情報を交換する時の共通的な交換方法が必要となる。施設は、特定地点に設置されているものなので、地物情報のデータモデル記述を拡張して整備している。また、施設は建物情報を持つ場合もあり、その場合には建物情報も拡張できる等、様々なデータモデル記述データモデル記述の組み合わせで複合的な施設も表現することが可能である。@ja

設備 DMD@ja

公開状態: 公開

作成者: 独立行政法人情報処理推進機構@ja

更新日: 2016/09/01

# 体制の構築

- imi.go.jpサイト
- IMIパートナー制度



# IMI情報共有基盤サイトの立上げ

<imi.go.jp>

- 情報連携に不可欠な「基本情報」を提供するサイト
  - 共通語彙基盤と文字情報基盤の情報を公開



- 「IMIパートナー協定」のポイント
  - 閣議決定に基づき、相互運用性の高い用語の開発を行うという目的意識の共有
  - 「IMIパートナ」の名称、IMIロゴの利用に係る合意
- 「連携」のポイント
  - IMIパートナの試作した語彙等を、コア語彙SWGでレビューし、「公開ドラフト」としてIMIのサイトから公開。
  - 「公開ドラフト」は、活用しつつ改良を重ねる。
  - IPAとパートナーで、協力して「公開ドラフト」の改良に努める。
- 「ドメイン語彙」への移行
  - （将来）公開ドラフトを整理統合し、管理責任を担う組織を決定し、「ドメイン語彙」としての自立的運用を図る。

# IMIパートナー（2017年2月時点）



情報連携に不可欠な基本情報やツールを提供するサイトです

[トップ](#)

[IMIとは](#)

[共通語彙基盤](#)

[文字情報基盤](#)

[お知らせ](#)

[イベント](#)

[ホーム](#) > [共通語彙基盤](#) > [コミュニティ](#) > [IMIパートナー](#)

## IMIパートナー

語彙の整備等を行う皆様と、相互運用性拡大などの目的を共有するIMIパートナーとしてお互いに協力して成果の展開を図り、IMI共通語彙基盤の一層の普及・充実と相互運用性の拡大を図るとともに、広く社会全般の一層の繁栄と発展につなげていくことを目指しています。

## IMIパートナー一覧

2017年2月現在のIMIパートナーです(五十音順)。

[株式会社アスコエパートナーズ](#)



[一般社団法人XBRL Japan](#)



[一般社団法人オープン・コーポレイ  
イツ・ジャパン](#)



[公益財団法人 九州ヒューマンメ  
ディア創造センター](#)



[Code for Tokyo](#)



[ビッグデータ&オープンデータ・  
イニシアティブ九州](#)



[一般社団法人 ユニバーサルメニュ  
ー普及協会](#)



▼ 共通語彙基盤 ▼

[共通語彙基盤について](#)

[> 共通語彙](#)

[> DMD](#)

[> DMD Editor](#)

[共通語彙基盤コミュニティ](#)

[コンテンツ一覧](#)

# 普及・啓発

- セミナー
- 対外関係



- 活用が広がる「共通語彙基盤（IMI）」
  - 2016年6月3日(金) 東京グランドホテル（芝公園）
  - メインセッション 共通語彙基盤IMIの概要や自治体での活用事例  
110名参加
  - 技術セッション IMIを利用したデータの作成方法についてデモンストレーション  
50名参加

講演資料と講演映像

<http://goikiban.ipa.go.jp/node1212>



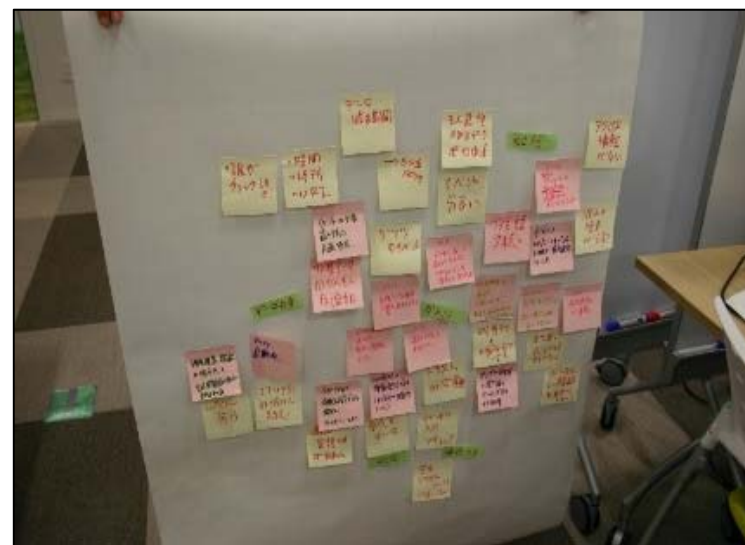
- オープンデータ最前線 ～自治体データ共有と共通語彙基盤の取組みについて～
    - 2017年2月22日（水） ITビジネスプラザ武蔵（金沢市武蔵町14-31）
    - 一般社団法人コード・フォー・カナザワとIPAの共催
    - IMI共通語彙基盤事業の説明とワークショップ
    - 定員50名
- <https://cfk.connpass.com/event/49523/>

# データ活用にかかる「ハッカソン」(11月27日実施)



対象オープンデータの潜在的利用者を集め、データの種類や構造、その活用法等についての意見やアイデアを収集。

合計	38名
自治体	6名
研究機関	4名
一般企業	28名





# 欧州委員会との密な連携



SEMIC会議での講演、パネル（2016年5月）

 ISA  
Interoperability Solutions for European Public Administrations

European Commission > ISA > News > 2016

[ABOUT ISA<sup>2</sup>](#) [ISA<sup>2</sup> CONFERENCE](#) [SOLUTIONS](#) [CONSULTATIONS](#) [NEWS](#) [EVENTS](#) [ACTIONS](#) [LIBRARY](#)

## SEMIC conference 2016 attracts over 200 participants

 On 12 May 2016, the 6<sup>th</sup> edition of the annual SEMIC conference welcomed over 200 participants from more than 30 countries, including representatives from non-European countries such as the USA, Japan and Uruguay.

The conference, hosted this time in Rome, was organised by the Interoperability Solutions for Public Administrations, Businesses and Citizens Programme (ISA<sup>2</sup>) of the European Commission, with the support of the Agency for Digital Italy (Agenzia per l'Italia Digitale - AgID).



2015年SEMIC会議でのキーノート講演



The poster features a blue background with a stylized globe and circuit-like patterns. The main title 'データマネジメント2016' is in large white characters, followed by the subtitle '～データ駆動こそがビジネスを創る～'. The date '2016年3月11日(金)' is prominently displayed. Below it, the venue '目黒雅叙園(東京都)' and the organizer '主催：一般社団法人 日本データマネジメント・コンソーシアム' are listed. A pink banner on the right says '事前登録制・無料'. A circular logo for 'JDMC SINCE 2011' is in the bottom right corner.

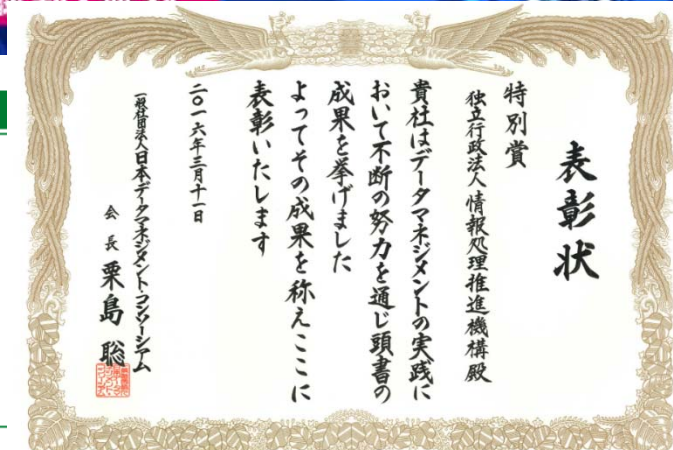
**データマネジメント2016**  
～データ駆動こそがビジネスを創る～  
**2016年3月11日(金)**  
目黒雅叙園(東京都)  
主催：一般社団法人 日本データマネジメント・コンソーシアム  
事前登録制・無料

C-3

情報の価値を高める「共通語彙基盤 (IMI)」、  
その必然性を明かす

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)  
技術本部 国際標準推進センター  
参与/国際標準推進センター長  
田代 秀一 氏

「世界最先端IT国家創造宣言」という安倍政権の閣議決定の下、政府や自治体を持つ公共データを再利用性の高い「オープンデータ」として提供する取り組みが始まっています。しかし、それを生かすには前提条件があります。データの構造や項目名などを定義したテンプレートをあらかじめ用意し、共有することにより、効率的で誤りのないデータ交換を可能にする「共通語彙基盤 (IMI)」の利用がその1つです。単に語彙を共通化するだけでなく、IMIを使えばデータ構造を設計する手間やコストを削減でき、活用のためのアプリ開発も容易になります。昨年2月の公開以来、経済産業省が近く公開する「法人情報ポータル」や、いくつかの自治体で活用が始まっていますが、新しいものだけに十分に認知されているとは言えません。そこで本講演では、共通語彙基盤 (IMI)の仕組み、活用の実例、海外での取り組み、国際協力の状況などについて紹介します。IMIを活用し、情報の整理、共有、公開を効率的で価値あるものにしてゆきましょう。



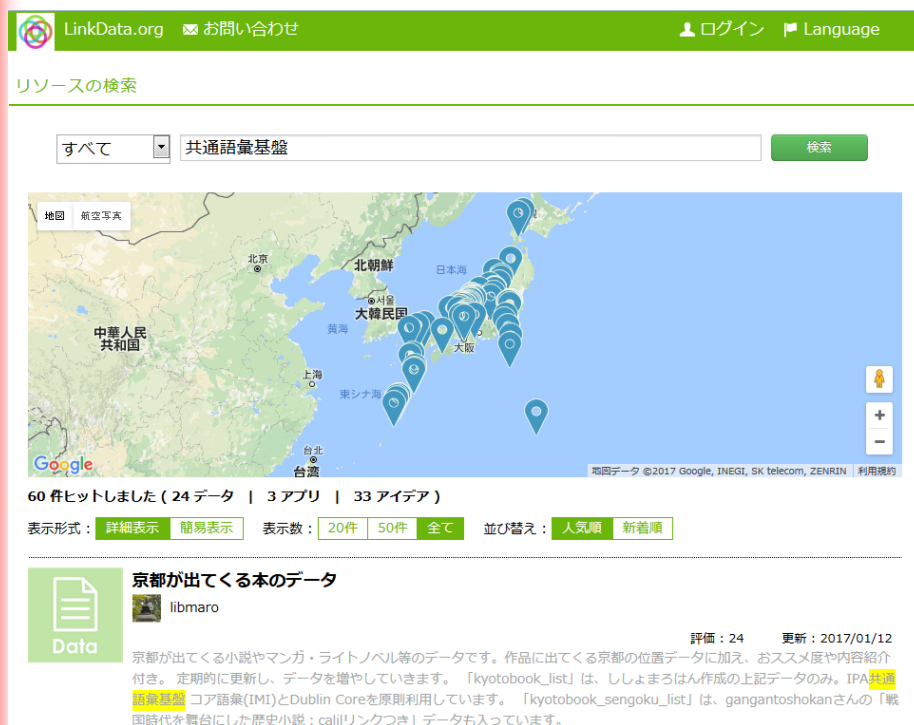
# 活用状況



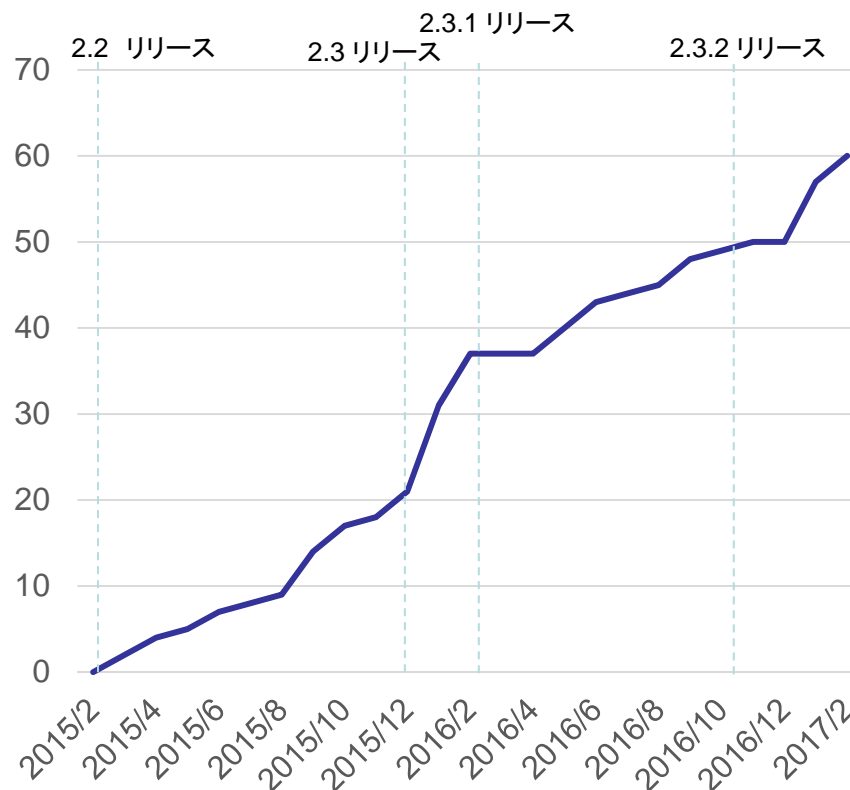


# LinkData.org にみる共通語彙基盤の活用状況

LinkData.org (オープンデータの作成・公開を行うサイト)では、60を超える共通語彙基盤を活用したリソース（自治体によるオープンデータ、オープンデータを活用したアプリケーションなど）が登録されている。



LinkData.org



共通語彙基盤 活用リソースの登録数

## 活用状況

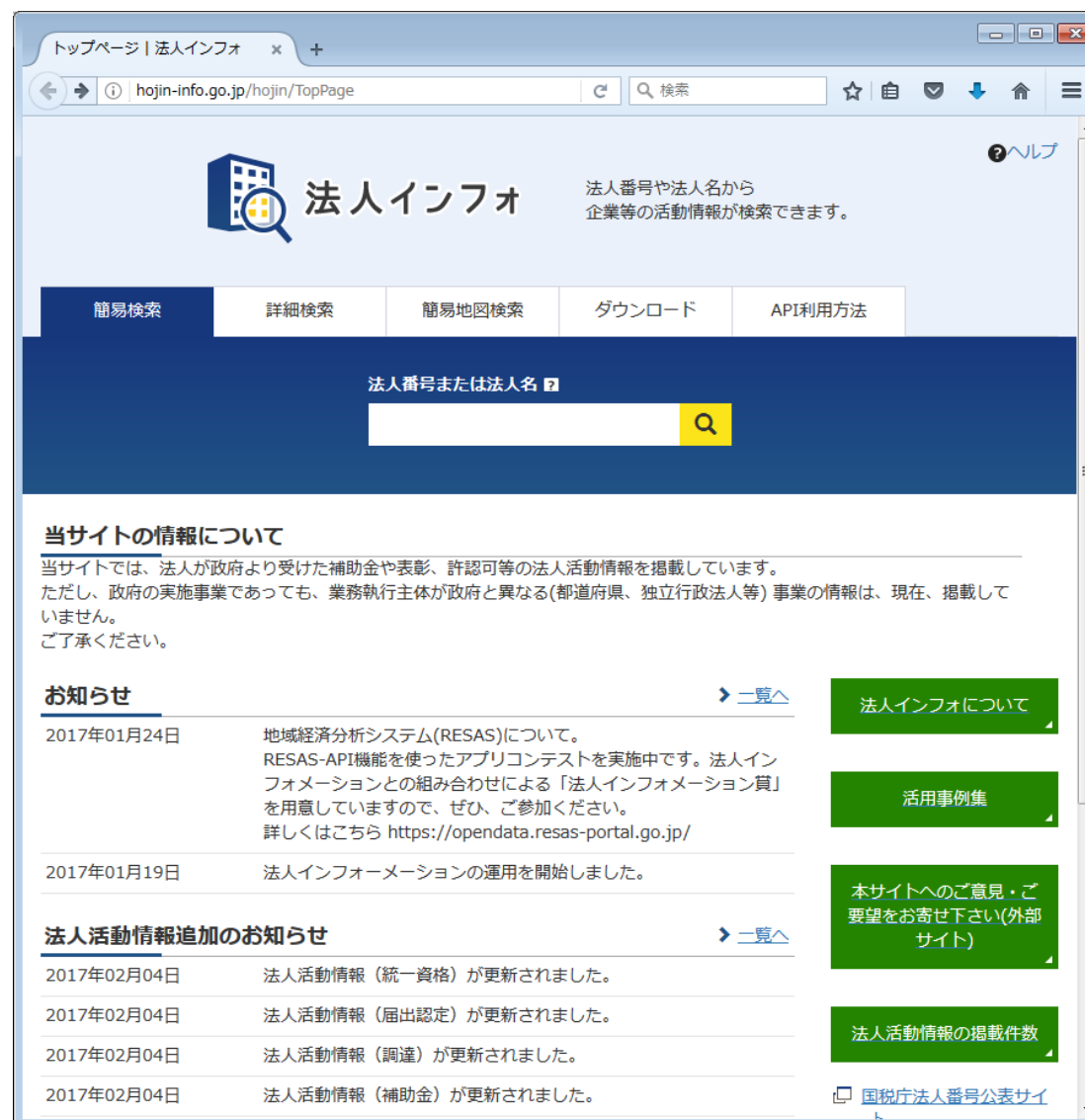
法人インフォメーションでは、データの相互運用性向上のために「IMI共通語彙基盤」が活用されています。

## 法人インフォメーション

URL: <http://hojin-info.go.jp/>

運営: 経済産業省

主な内容: 国が保有する国内約400万社の企業情報




IMI共通語彙基盤の枠組みとコア語彙を活用した、県と市町村の共通形式(共通フォーマット)によるオープンデータを公開。



## 共通フォーマット策定の経緯

オープンデータの活用が進まない大きな原因の一つとして、同じ種類や内容のデータでもフォーマットが不統一であることが挙げられます。団体毎、データ毎にフォーマットが異なっているのが実態です。そこで、埼玉県では、県と県内全市町村で構成する「電子自治体推進会議」に「埼玉県オープンデータワーキンググループ」を設置し、より活用しやすいオープンデータを公開するための協議・検討を行い、共通フォーマットを策定しました。策定に当たっては、**経済産業省**及び**独立行政法人情報処理推進機構(IPA)**の協力の下、**IMI（共通語彙基盤）**の枠組みと基本語彙を活用しました。  
※埼玉県オープンデータポータルサイト お知らせより抜粋

- 参照するスキーマのひとつにIMIのコア語彙を採用
- 語彙の改良に関し、連携・協力体制を構築



The screenshot shows the '統計LOD' (Statistics LOD) website. The browser address bar displays 'data.e-stat.go.jp/lodw/'. The page features a central 'Linked Open Data' graphic with a network of nodes and labels such as 'sac:C11215-19830', 'sac:C5049', 'sac:C11215-19940301', 'sac:C4225', 'sac:C11201-20030401', and 'sac:C11201'. A bar chart on the left shows data for '1994-03-01'. Below the graphic, a text block states: 'オープンデータの最高ランク（5スター）であるLOD(Linked Open Data)で統計データを提供します。' (We provide statistical data using LOD (Linked Open Data), the highest rank (5 stars) of open data). A '【お知らせ】' (Notice) section mentions an event on December 21st. A '関係リンク' (Related Links) section includes logos for e-Stat, Statistics Japan, NISAC, and IMI. At the bottom, there are icons for '統計LODの概要' (Overview), '統計LODの使い方' (Usage), '提供データ' (Provided Data), and 'RDFスキーマ情報' (RDF Schema Information), along with the 'LOD Challenge 2016' logo.